



報道関係者各位

株式会社コンピュータ・ニュース社

〒113-0033 東京都文京区本郷 3-18-14本郷ダイヤビル6F

TEL 03-4236-5200

FAX 03-3818-3006

本件に関するお問い合わせは下記をお願いします。

BCN総研 高溝 靖規

<http://www.computernews.com/marketview>

## ソニー VAIO Uがミニノート市場を牽引

株式会社コンピュータ・ニュース社（本社：東京都文京区、代表取締役社長 奥田喜久男）の市場調査部門であるBCN総研は、「BCNランキング」\*から、ノートPC店頭市場におけるミニノートタイプの販売動向を集計した。今後期待されるミニノート市場は、ソニーのVAIO U発売（4月27日）により、ノートPC市場全体における構成比が13.6%まで上昇し、それ以後6月第1週（6月3日～9日）まで、10%前後で推移している。

VAIO Uは、5月のノートPC月間販売台数においてランキング1位となるなど、登場直後からミニノート市場の牽引役となっている。

\*BCN総研は、東名阪のパソコン大手販売会社12社（エイデン、大塚商会＝ランド、グッドウィル、コンプ100満ポルト、コンプマート、T-ZONE、上新電機、ソフマップ、九十九電機、ニノミヤ、ピックピーカン、ワンダーコーポレーション＝50音順）522店舗（2002年04月01日現在）の日次販売データをデイリーで収集し配信するBCNランキングを公表しています。このデータをもとに、PCリテール市場の動向を分析したニュース配信を行っています（毎月第2、第4金曜日の発行となります）。

BCNランキングによると、2002年3月第4週（3月25日～31日）から4月第3週（4月15日～21日）までのミニノートタイプの市場規模は、ノートPC市場の2%台にとどまっていた（図1）。ところが、4月27日にソニーのVAIO Uが発売されたことにより、4月第4週（4月22日～28日）の販売台数は、3月第4週の4倍以上に急増し、市場規模はノートPC市場の13.6%に達した（図1、2）。

それ以後6月第1週（6月3日～9日）まで、10%前後で推移してきており、B5タイプの市場規模と拮抗するまでとなった。

VAIO Uは、ノートPC市場のモデル（型番）別販売台数シェアで、4月第4週に9.0%を占め、ランキング1位となったのを皮切りに、6月第1週まで7週続けてトップ5にランクインしている。また、5月の月間販売台数でも、ノートPC市場のランキング1位となった。

ミニノート市場における他の主要モデルには、ソニーのVAIO C1、東芝のLibretto L5シリーズ、富士通のFMV LOOX（T/S）シリーズがある。各シリーズの合計販売台数は拮抗しているが、全体的には振るわない状況が続いている。

無線LANが普及し、街中でのホットスポットサービスが立ち上がり始めてきたことから、今後、モバイル需要は一層強まると思われる。従来のミニノートとは異なる視点からモバイルにこだわったVAIO UのようなPCが市場を牽引していくとみられる。

\* 本リリースについて、今後メールでの配信をご希望の方がいらっしゃれば、対応させていただきます。

赤島までご連絡下さい（[akashima@bcn.co.jp](mailto:akashima@bcn.co.jp)）。

図1 ノートPC店頭市場販売台数のタイプ別構成比推移

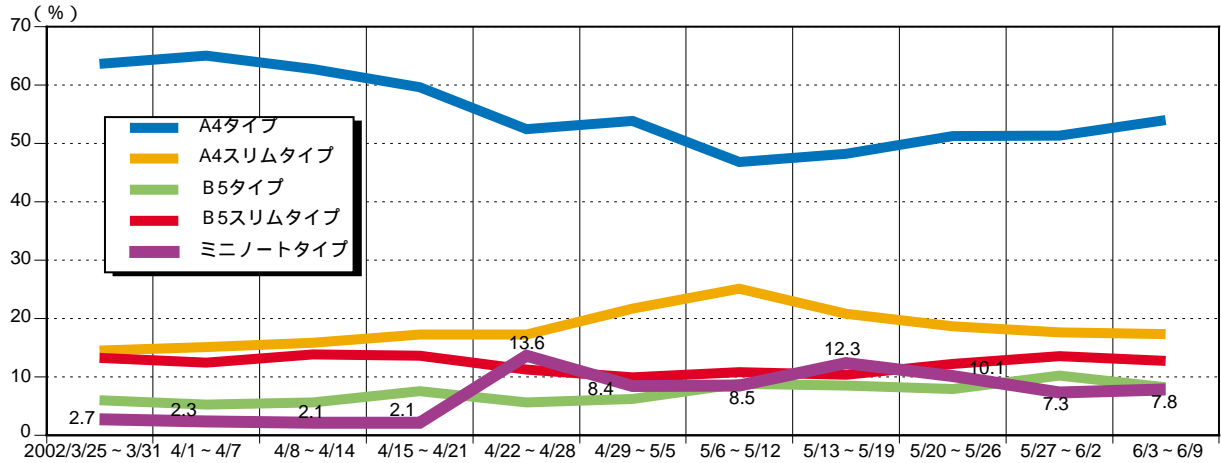


図2 ミニノート店頭市場の販売台数推移とベンダー別シェア

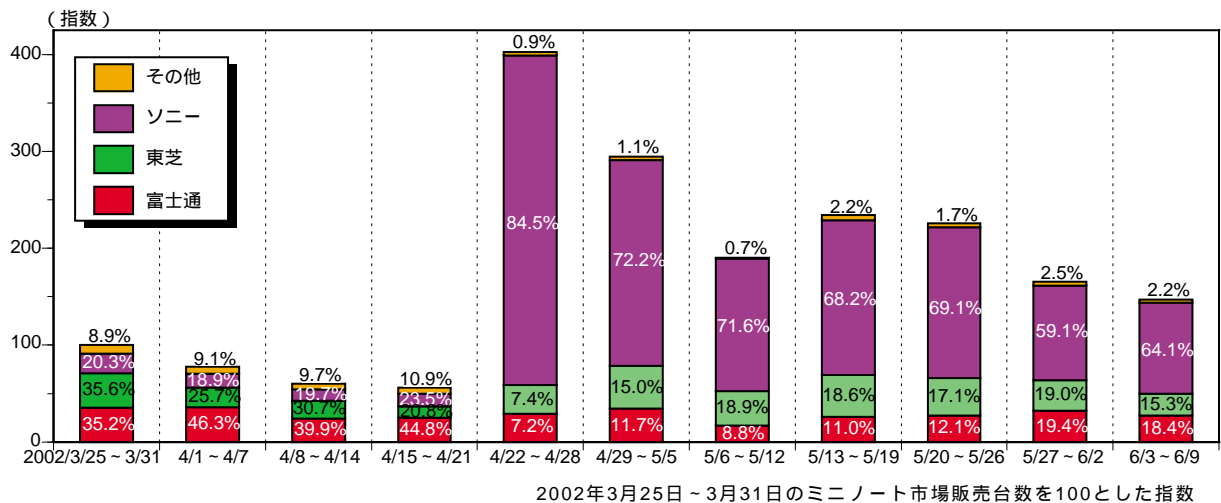
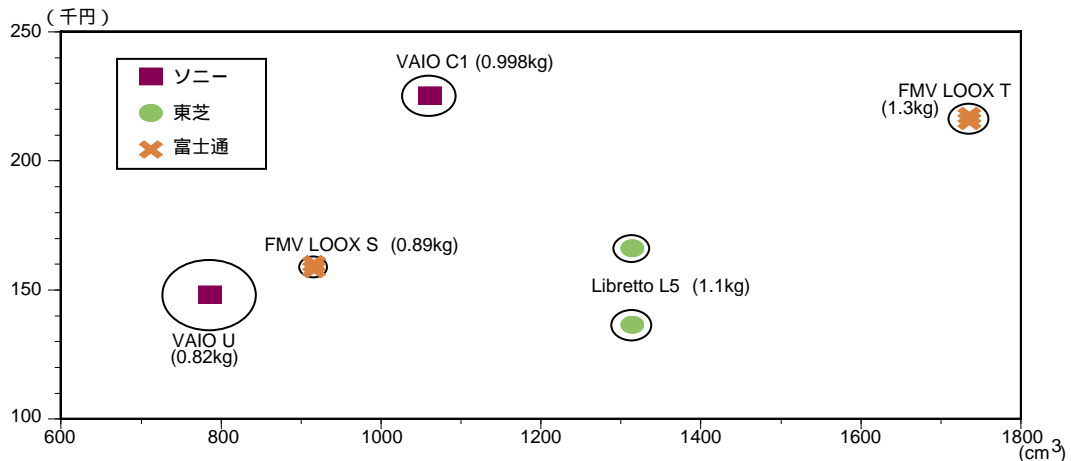


図3 ミニノート市場における各モデルのポジション (本体体積 × 実売価格)



円の面積で、6月第1週の販売台数を相対的に表している。